

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 3年 3月 25日

放課後等デイサービスひまわりくらぶ吳中通

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------|----|--|----|-----|---------------------------|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | ワンフロアの指導訓練室、事務室と事務室内相談室。クールダウン出来たり音に敏感な児童が周囲の状況に合わせ、個別に過ごせるスペースがあれば望ましいと考えている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | 加配体制をとり、人員配置の配慮している。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | | 施設内バリアフリー。 エレベーター停止時、車椅子使用のご利用児童の昇降が出来ず点検時にはお休み頂いている現状である。 |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | | 業務に関わる職員全員が、互いのコミュニケーションをしっかりと取り、より良い支援提供をしていける様、業務上の様々な情報を共有すべく努めたい。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | アンケート調査実施後の集計結果や保護者様からのご意見を職員間で共有し、より良いサービス提供に繋げていける様、努めていきたい。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | ホームページ上で公表。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 外部評価実行無し。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 職員の意見を組み入れながら研修計画立案をしている。 | 月1回、合同研修の実行。 |
| 適切 な支 援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | 各々の児童の課題や基礎能力に沿った支援提供が出来る様、相談支援の先生から頂く、計画書に則りご利用者様、ご家族様の意向に沿った計画書作成に努めている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | ○ | | ツールの使用無し。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | 職員間で話し合いを持ちながら立案。当日配置の従業者が利用児童に応じた活動選択をしている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | 活動内容に偏りが生じない様、又誰もが参加出来て、楽しめる活動内容を中心、参加時の児童の様子等、職員間で実行後の振り返りをしていき、次の活動提示を考慮している。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | | 放課後、終日のご利用時間の中で、設定内容にとらわれず、当日ご利用児童の出欠状況や、ご利用児童の要望を取り入れながら、柔軟な日々の活動設定を心掛けている。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | 職員間で話し合い、ご利用児童各々の能力や特性、特徴に沿った支援提供が行える様に心掛けて作成している。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|---|----|-----|--------------------------------------|---|
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | 出勤後、当日ご利用児童、支援内容確認、注意事項、昨日の振り返り等を話し合い、職員間で共有している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | 送迎終了時間が違うので必ずとは言えないがその日の必然事項については送迎終了後話し合い、従業者間連絡帳記入し当日配置のなかった従業者にも共有を図っている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | ご利用児童各々のケース記録に当日の支援内容や様子を記録。業務日誌で当日の流れ、支援内容の振り返りや改善に繋げている。 |
| | 18 | 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 半年ごとに計画書に則り、正しく支援が行われているか、評価を行い、計画書内容と実質支援内容に修正箇所はないか検討している。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | ○ | | | ガイドラインの総則に則り、各々の個性、特性に沿った支援を心掛けている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | 児童発達支援管理責任者が出席している。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | ○ | | 次月ご利用予定を頂く事で、保護者様からの情報提供を頂いている。 | 学校お迎え時、担任の先生とお話させて頂きながら伝達事項や様子を伺っている。 学校ホームページにより、年間行事のスケジュール確認。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | ○ | | | 医療的ケアが必要な児童のご利用無し。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | | ○ | | 情報共有無し。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | ○ | | 情報共有無し。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | ○ | | 情報共有無し。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 交流、活動の共有無し。 |
| | 27 | 自立支援協議会等へ積極的に参加している | | ○ | | 出席できていない。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | メール活用でお伝え事や、保護者様からの緊急な連絡にも対処できるよう対応。 | 日々の送迎時にお伝えしたり、お話ししているが充分とは言えない。保護者様のニーズをその都度に受け止め、気になる事や困り事に寄り添い、一緒に解決していける様努めたい。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|-------------------------|---|
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | ○ | | 現時点での保護者様に対する支援は行っていない。困り事や気になる事等、その都度に相談や共有ができるように努めたい。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | ご契約時の契約書、体制や内容変更時の重要事項説明書で解り易くお伝え出来る様努めている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | その都度のご相談、お悩みを保護者様から頂いた場面で、対応させて頂いている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 新型コロナウイルス感染拡大防止、予防の観点から行事を控え、恒例の参観行事も行ってない状況である。今後の状況を見ながら可能であれば再開していきたい。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | 苦情対応窓口の設置、苦情対応職員の配置で、苦情内容についての速やかな事実確認と迅速な解決に向けて努めている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | | ○ | | 会報等の情報発信無し。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | 社内研修で職員周知図り、日々の法令遵守に努めている。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 安心してご利用頂ける事業所である為に、明確な言葉と誠実な気持ち、態度を持ち、相互の信頼関係を築いていける様、努めている。 |
| 非常時等の対応 | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 新型コロナウイルス感染拡大防止、予防の為、地域の方との交流、ご利用者様以外の外部の方との交流は行っていない。 |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | 職員に対しては研修時、マニュアル活用しているが、保護者様各々に対する提示はしていない。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | 半期に一度の避難訓練時、ご利用児童と共に避難経路、避難場所の確認を行っている。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 年一回合同研修の必須事項とし、マニュアル提示や具体例を上げながら職員周知、自覚認識出来る様努めている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | | ○ | 身体拘束排除宣言を事業所理念として掲げている。 | 身体拘束の対象となる児童無く、記載なし。研修等通じ職員に身体拘束についての知識認識を周知していきける様に努めたい。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | プライバシー保護に則りながら、アレルギーのあるご利用児童各々のアレルギー物質を職員周知出来る様、記載掲示をしている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | プライバシー保護に則りながら、研修時、職員各々の事例等提示を基に、話し合い検討、共有している。 |